

## 交換留学（派遣）近況報告書

.....

留学先大学 : ライデン大学  
 留学先での所属学部・研究科 : 人文学部  
 留学先での在籍身分 : 交換留学生  
 留学期間 : 2017 年 2 月 ~ 2018 年 1 月  
 神戸大学での所属学部・研究科 : 国際文化学部  
 学年（出発時） : 3  
 本報告書記入日 : 2017 年 4 月 19 日

## 1. 出発前について

1-1. 交換留学以前に海外留学の経験はありますか。

はい  いいえ

「はい」と答えた方は、留学先及び留学期間についてご記入ください。

<国名> イギリス <期間> 4週間

1-2. 交換留学プログラムを最初にどのように知りましたか。

<input type="checkbox"/> 国際教育総合センターの教員	<input type="checkbox"/> 所属学部・研究科の教員	<input type="checkbox"/> 友人
<input type="checkbox"/> 以前に参加した先輩	<input type="checkbox"/> 所属学部・研究科の掲示板	<input type="checkbox"/> 神戸大学のホームページ
<input type="checkbox"/> 留学フェア	<input type="checkbox"/> その他（具体的に）_____	

1-3. この交換留学プログラムに参加した動機を教えてください。最もよく当てはまる動機を「4つ」選び、

1~4まで順位を付けてください。（1：最も強い動機）

4 学術的な目的（研究を深める等）	地理的な条件が良い
2 語学力の向上	旅行ができる
_____ 将来のキャリアのため（就職に役立つ等）	プログラムの時期が良い
_____ 家族のバックグラウンドと関係がある	プログラムの期間が良い
1 異文化体験	経費が安い
_____ 個人的な理由	その他（具体的に）_____

1-4. VISAについて

VISAの種類 : residence permit （実際の取得は入国後）

申請先 : Dutch Immigration Office (大学を通して)

必要日数 : 約2か月

VISA取得にかかった費用 : なし

VISA申請のためにどのような書類の提出を求められましたか。どのように準備しましたか。

パスポートのコピー・滞在に必要な財力があることの証明（大学の口座に日本から一括で入金し、到着後開設した銀行口座へ移しました）

## 1-5 出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用

なし

## 1-6. その他に必要だった手続き、方法、料金等

戸籍抄本のオランダ語翻訳、アポスティーユ（実際には求められませんでしたが）  
大使館公認の翻訳者のかたに翻訳していただきました。（2冊で1万円ほど）

## 2. 留学先到着後の手続きについて

## 2-1. 到着時について

利用航空会社 : KLM

利用旅行会社（航空券の手配をした会社） : HIS

留学先大学最寄り空港名 : シャルル・ド・ガルニエ国際空港

空港到着時間 : 15 時頃

空港からの移動手段 : 大学手配の出迎え 知人の出迎え 公共交通機関 バス、鉄道 タクシー  
その他（具体的に）

移動の所要時間・料金 : 20 分, €5 ほど

空港からの移動の際の注意点 :

私はオランダ人の知人に助けてもらいましたが、はじめてだと値段がわからなかったり、現金が使えず困るかもしれないでカウンターで切符を買うことをお勧めします。また空港の駅には改札がないのでポールのようなものについて機械にタッチしチェックインするのを忘れないように気を付けてください。

## 2-2. 留学生向けオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無 : 有り 無し参加について : 必須 任意参加参加費用 : 無料 有料（金額 : €80 )

内容について記入してください。

10人ほどの留学生と現地の学生ガイド2名のグループで4日間、街や校内を回ったりアイススケートを行ったりしました。勉強や学校についての説明は十分とは言えませんが、いろいろなところから来た学生と友達になる最初の機会なので参加すべきだと思います。ただし初日から夜はかなり遅くまでお酒を飲む人が多いので、あまり得意でない人は個々でセーブしてください。ちなみに冬のオリエンテーションでは日本人は見かけませんでした。

## 2-4. その他、渡航してから必要な手続きについて

現地で滞在許可書申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。

事前に大学のサイトからアポイントメントをとり市役所に住民登録しに行きました。

その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）有れば、方法、料金等を記入してください。

銀行口座の開設。オランダでは銀行のカードをデビットカードとして使うことが多く現金が使えないこともあります（例えば寮の洗濯機など）、開設することをお勧めします。私は大学推薦のRabobankで作りました。留学生の間では他の銀行のほうが良いという声もあるようですが、私の場合、大学経由で申し込みでき、わざわざ銀行へいかなくても手続きができ、とても便利に感じました。（実際ほかの銀行を利用した友達は手続きに時間がかかるっていました。）しかし夏と冬では留学生の数も異なり、状況も異なるかもしれませんので、同時に留学した人に相談するをお勧めします。

## 3. 語学力向上のためのコースについて

## 3-1. 語学力の向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学（語学学校）名、コース名、料金、期間等を記入してください。

参加していません。

留学先大学：ライデン大学

留学先での所属学部・研究科：人文学部

留学先での在籍身分：交換留学生

留学期間：2017年2月～2018年1月

神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部

学年（出発時）：3

本報告書記入日：2017年4月19日

**出発前**

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

身边にオランダへ留学した先輩などがないなかったので、主にオランダへ留学している人や在住者のブログなどで情報を集めました。

**住居について**

・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）\_\_\_\_\_

住居（寮、アパート）の名前：Kloosterpoort

・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）\_\_\_\_\_

・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：\_\_\_\_\_）その他（具体的に）\_\_\_\_\_

・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）\_\_\_\_\_

・大学までの通学時間・手段：10分、徒歩

・住居の周りの環境はどうですか。：

住んでいる部屋によっては、隣接するバーがうるさいということや、なんらかのトラブルに対して斡旋会社の対処が遅いという声もありますが、私はいまのところ大丈夫です。部屋内の設備（キッチン、シャワー、インターネットなど）は使い心地がよく、建物や部屋もきれいで満足しています。また大学やスーパー、カフェなどの中心部へは徒歩でアクセスでき、駅へもバスで数分（徒歩30分ほど）なので立地も十分良いと思います。

・毎日の食事はどうしていますか。：

基本的に自炊

・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

留学が決まってすぐ、正式な許可がライデン大学から下りる前に申し込んだので、第一希望の寮に入ることができました。寮内でもかなり家賃にばらつきがあり部屋の広さなどもかなり異なるので、どのような部屋になるかは運だと思います。

**大学の授業について****1. 履修登録について**

・履修登録の時期：出発前 到着後

・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）\_\_\_\_\_

・登録時に留学生として優先・配慮されることはありませんか。：無し 有り

・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ

・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

## 2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名 (現地語・和訳)	教授名	時間数 ／週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Modern Japanese History	Dr. E. Mark	2	5.0 ECTS	100人	現地の日本語学科1年生の授業です。内容はそんなに難しくありませんが、リーディングの量は多いです。授業の資料や録音が後日載せられるので参考に復習すればいいと思います。
2	Culture and Society of the Netherlands: An Inside View	Ms. Dr. O. van Marion	2	5.0 ECTS	50人	留学生のための授業です。オランダの文化や歴史について幅広く学ぶことができます。予習の量も少なく、授業も難しい内容ではないので、楽しく受講できます。
3	Race, Culture and Classification: the Anthropology of Discrimination	Dhr.Prof.Dr. P.J. Pels Dhr.Drs. I. Boog	2	10.0 ECTS	30人	これはHumanitiesではなくSocial Behaviorでの授業です。現地の学生と留学生が半分ずつおり、内容もかなり難しいので苦戦しています。毎週のリーディングとサマリーが大変で、また授業中もみな積極的に意見を交わしています。
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

## 3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

大教室でのレクチャーは日本での授業とあまり変わりがないような印象をうけました。しかし人数が少なくレベルの高い授業になると、生徒同士のディスカッションをもとに授業が進み、積極的に議論に参加することが求められます。またオランダ人学生、留学生ともに英語のレベルが高く、慣れていない間は議論についていくのが大変でした。私の場合授業は週に3回なので残りの日を予習や復習にあてています。しかし旅行に行ったりすることもあると思うので、優先順位をつけて効率よくやることが大切だと思います。

## 一週間のスケジュール (授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。)

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00							
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00	授業	自習	授業	自習	週末を利 用し、周 辺の国へ 旅行		
15:00							
16:00	カフェで 自習						
17:00							
18:00	帰宅		パー ティー				
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

**現在までの感想　自由に記入してください。(800字~)**

私は留学してすぐに、ライデン大学とライデンの街が大好きになりました。

大学に関しては、日本にいる間からアプリケーションやVISA取得に関してスムーズに手続きでき、また到着してからも困ることはませんでした。担当の方もとても親切です。また履修や授業の登録に関してもすべて英語で情報を手に入れられます。

ライデンという街は学生が多いということもあり、とても住むのに向いていると思います。小さい街ですが運河や街並みがとても素敵で、カフェなども多くあります。私は毎日いろんなカフェに行って本を読んだり勉強をしています。こここのところは暖かくなってきてたくさん的人がテラスでコーヒーやビールを飲んでいて、ヨーロッパに来たのだなど実感できます。また街の人もみな親切で、ほとんどの人がきれいな英語を話します。私は、ほとんどオランダ語を話せませんが、それで困ったことはありません。アムステルダムやハーグといった主要都市にも近く、また空港へも電車ですぐ行けるので、旅行もしやすいです。治安に関しては、危ない目にあったという話は聞いたことがありません。海外なので気を付けなければならないのでしょうか、夜遅くでも危ないという雰囲気は全くなく、学生が安心して夜まで遊べるというのも良い点だと思います。

ライデン大学には留学生をサポートする団体が存在します。留学生は希望すればBuddy Groupという小さな留学生のグループに参加することができます。10人くらいのGroupごとに現地の学生がBuddyとしてつき、毎週PartyやEventを企画してくれます。私が空港に着いた時もその学生が空港まで迎えにきてくれ、とても助かりました。私の場合、たまたまその学生が日本語学科の学生だったというのも大きかったです。このBuddyGroupも友達の輪を広げてくれました。

授業に関しては、わかってはいたものの、やはり大変だなという感想です。リーディングに膨大な時間がかかる上に、授業内のディスカッションについていくことに苦戦しています。英語が堪能な学生が多く自分の英語力の低さを痛感しています。しかし裏返せば、英語で高度なレベルの授業が提供されているということです。ここで1年間しっかりと学ぶことができれば、アカデミックな部分の英語力も伸ばすことができるだろうと確信しています。

ライデン大学は英語圏の大学ではありませんが、生活においても授業においても、英語が必要になります。イギリスなどと比べると物価や生活費も安いと思うので、英語力の向上を目的の一つに留学するのにとても良い環境だと思います。